

第3回消費者委員会オンラインセミナー
「消費者委員会のワーキング・グループ報告書について」実施報告

令和5年9月11日
消費者委員会事務局

○開催日時 令和5年8月28日（月）18:00～19:50

○開催場所 消費者委員会会議室（Webex オンライン開催）

○テーマ 消費者委員会のワーキング・グループ報告書について

○目的

- ・ 内閣府消費者委員会の取組や成果を周知・広報するとともに、消費者委員会のことを多くの方に知っていただくため、オンラインセミナーを開催した。

○内容

- ・ 本年8月に発出した、消費者委員会の2つのワーキング・グループ報告書を紹介。
「デジタル化に伴う消費者問題ワーキング・グループ報告書」では、チャットを利用した勧誘による販売に必要と考えられる特定商取引法における規制等の在り方等について説明した。
「消費者法分野におけるルール形成の在り方等検討ワーキング・グループ報告書」では、高配当、高利益が得られるとうたって多数の消費者を誘引し、多額の出資をさせて、多数の消費者の被害回復が困難になっている「破綻必至商法」及びこれを止めて被害を回復するための方策に関して説明した。
各説明の後、参加者からチャットによる質問をいただき、事務局より回答した。
- ・ トークセッションでは、委員7人から、第7次消費者委員会の審議の振り返り・感想及び自身の関心事項、社会へのメッセージなどをお話いただきながら、参加者からのチャットによる質問に対して回答いただいた。

○参加人数 約100名

○プログラム

18:00～18:10 開会挨拶、消費者委員会の紹介（小林事務局長）

18:10～18:20 「デジタル化に伴う消費者問題ワーキング・グループ報告書」紹介
（消費者委員会事務局）

18:20～18:40 参加者からのチャット紹介、質疑応答

18:40～18:55 「消費者法分野におけるルール形成の在り方等検討ワーキング・グループ報告書」紹介（消費者委員会事務局）

18:55～19:20 参加者からのチャット紹介、質疑応答

19:20～19:45 トークセッション・第7次消費者委員会の審議を振り返って
（後藤委員長、（以下、50音順）青木委員、生駒委員、大石委員、黒木委員、木村委員、清水委員）

19:45～19:50 まとめ、閉会挨拶（小林事務局長）

○事後アンケート結果

- ・ 満足度評価（回答者平均値）：4.2点（非常に高い5点～非常に低い1点）

○事後アンケートにていただいた意見、感想等

- ・ チャットでどんどん参加者からの質問を受け付ける方法が良かった。
- ・ 報告書について、字面だけでなく肉声で委員の意見が聞けたので、理解が深まった。傍聴であれば途中で意見を述べることはできないが、この方式であれば参加者と意見交換ができるのも面白い。
- ・ 報告書の説明が分かりやすく、内容について理解できた。委員長をはじめ委員の皆様の消費者行政・消費者政策への熱意が伝わるセミナーで良かった。
- ・ 任期末の委員の方々から、委員会を振り返ったコメントを伺うことができ有意義だった。委員長のお考え、委員のご意見それぞれ、通常の委員会の傍聴では決して伺うことができないものであったと思う。
- ・ 本日の報告は、是非とも実現していただきたい。デジタル化により勧誘方法も変わってきている。現状に合わせた規制・ルールが必要。
- ・ 地方にいと消費者委員会の活動内容に接する機会が少ないので、こうしたセミナーは大変ありがたい。
- ・ Webセミナーは参加者の交流が限られてしまうため、リアル開催を検討してほしい。
- ・ 今後ともタイムリーなテーマ、法律の隙間を埋める事案に対しての検討・提言・建議を期待している。
- ・ 色々な立場の専門家が入っていることで、多様な視点からの問題解決につながることを期待したい。
- ・ ところどころ音声聞き取れず残念だった。マイクや通信状況の改善をお願いしたい。

○当日の様子（※複数の写真を使用し、加工しています）



以上